

## JA大阪南、JAバンク大阪信連一体で挑む

—— 職員の実力の底上げを図る取り組みとは ——

### 計画的な資格取得体制で、より確かな人材育成に着手

本年度の検定試験で全国最優秀成績者を含む成績優秀者を複数輩出した大阪南農業協同組合（以下JA大阪南）。それまでの人事考課制度を今年から大きく変更、新たな人材育成の施策に着手したそうです。その実態について、現地



JA大阪南 常務理事  
土井 広和さん

「成果だけを見るのではなく、よりプロセスに重点を置いた人事評価制度に改訂することで、本当の意味で“人が育つ”環境を整えたかった」と話すのはJA大阪南の土井広和常務理事。JA大阪南では、人事評価制度改訂の一環として各種資格取得体制を改めて整備。それまで資格

取得の取り組みは事業部別に進められ、取得状況にばらつきがありましたが、JAバンク大阪信連の協力も得て、今年からは広範かつ計画的な資格取得を奨励。まずは信用事



写真左から、お話をうかがったJA大阪南の金融部部长 田中浩司さん、総務部部长 竹村泰明さん、人事課課長 椿本吉成さん。自ら上級の関連資格の学習に取り組み、取得することで、常に挑戦する姿勢を身をもって示している。

業基礎、続いて年金基礎、渉外基礎というように、具体的な取得プランを共有することで職員の負担を減らし、より受験しやすい環境づくりを行っています。現在特に年金推進に力を入れていることもあり、2カ月に1度は年金実務関連の階層別研修を自主的に実施。効果的に学習を進めています。



JA大阪南 丹南支店  
主任  
和田 亜矢子さん

その年金実務試験で本年度優秀賞を獲得したのがJA大阪南丹南支店の和田亜矢子主任。「受験勉強したおかげで、お客様のご相談に対して具体的にかつ積極的にお話できるようになり、大きな自信になりました」とのこと。「周りにも、頑張れば必ず結果がついてくるということを伝えたいです」と笑顔で続けます。

土井常務理事も「やはり基本となるのは相談機能。そして、お客様の相談事にしっかりと応えるためには、当然ながら確かな知識が不可欠です。職員には、資格取得をきっかけに学んだことを今後より効果的に実務につなげてほしい。そうして初めて、地域に本当に喜んでもらえる存在になれるのではないかと思います」と話します。JA大阪南の今後に注目です。



〈JA大阪南〉平成10（1998）年4月1日に、南河内地区5市3町1村の9JA（大阪河南町、太子、羽曳野市、美原町、千早赤阪、大阪狭山、藤井寺市、河内長野市、富田林市）が合併して発足。「農と緑を守り、地域社会の発展に寄与するため、役職員自ら意識改革により、リーダーシップを発揮します。」を経営理念とする。

### JAバンク大阪信連から——さらなる学びの文化の醸成を目指して

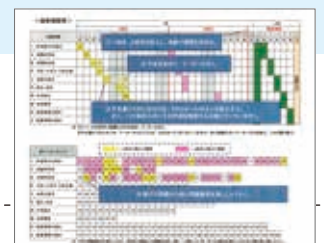


JAバンク大阪信連  
JAバンク指導相談部  
次長 人材開発担当  
亀田 隆博さん

JA職員のベーススキル向上を図るべく、昨年より資格取得を軸とした人材教育体制づくりに取り掛かっているJAバンク大阪信連。「セールスを主眼に置くにしても、きちんとした基礎知識がなければ伸びない。金融機関としてより確実な人材育成を図るために、受験を促す総合的な取り組みを始めました」と人材開発担当の亀田隆博さん。亀田さんは各JAに向け、信用事業基礎、信用事業管理者、銀行業務検定などを中心とした階層別・職位別資格取得イメージや、受験にあたっての心構えを説いた「資格試験受験の心得」などを独自に作成。また、各自学習の進捗確認表を記入、支店長経由で提出してもらうことで、計画的な学習の徹底を図っている。「普段の業務のかたわら自分一人の力で合格するには、モチベーションの点でも効率の点でも相当の努力が必要。そのあたりを重点的に、可能な限りサポートしたい。ゆくゆくは各自が自然に挑戦心と向学心を持つような、さらなる学習文化の醸成につながるというですね」。取り組みは始まったばかりだ。

（写真左）JAバンク大阪信連内にある研修用ホール。大人数を収容できる。

（写真右）亀田さんが作成した独自の「進捗確認表」。日程表にいつ、どの項目に取り組むのか、予定通り学習できたか、問題を解くことができたかなどを記入、一覧できるようになっている。



県域職員向け研修の募集開始!

10月より、下記の県域職員向け全国研修の募集が開始されました。ふるってご応募ください。

債権管理・回収基礎
内部管理責任者資格試験インストラクター
系統BISシステム操作

第37回検定試験の申込者数(速報値)について

第37回検定試験(平成27年10月3日実施)の受験申込者数(速報値)は以下のとおりとなりました。

科目名	今回受験申込者数	前年同期対比
信用事業基礎	2,659	+703
JAバンクローン基礎	651	▲75
JA住宅ローン実務	532	+20
農業融資実務	1,904	+188
JAバンク信用事業管理者	1,691	+338
合計	7,437	+1,174

県域職員の皆さま向け集合研修情報

研修名 債権管理・回収基礎

日程	12/2～12/4(3日間)
目的	融資担当者として必要となる債権管理・回収にかかる基礎的な法務知識を体系的に習得します。
対象者	融資・審査部署で融資または債権管理・回収業務を担当する新任職員、推進部署などでJAなどの融資・債権管理などの指導を担当する新任職員
内容	債権管理・回収の基本、貸出金の管理(相続)、相殺・抵当権実行・差押え、延滞案件の管理、法的倒産手続、債権回収の実務など
講師	太田家 芳博、系統サービサー職員

今月の注目トピック

「相続手続き実務研修」のご紹介

今月は、当社がJA職員向けに標準的なカリキュラムをご提供する「標準プログラム研修」の中から「相続手続き実務研修」をご紹介します。この研修は、相続にかかる2つの側面「法務」「税務」について、基礎知識および実務上の留意点について事例を交えて学び、知識の習得・対応力向上を図るものです。内容は次のとおりです。

相続の基礎知識、遺産分割、遺言の基礎知識

相続人の範囲と順序、欠格事由と相続廃除など相続に関する基礎知識を押さえ、遺産の分割方法、遺産分割協議書などについて確認。また、遺言の種類や遺言をめぐるトラブル事例などを学びます。

相続にかかわる税務の基礎知識

相続税、預貯金の取扱い、債務控除・葬式費用の範囲、農地の相続税猶予の特例、贈与税などについて学習します。

戸籍の見方・事例研究

戸籍の基礎知識、戸籍確認時の注意点などについて確認します。また、遺産分割前の相続貯金の処理基準、遺留分を害する相続貯金の遺贈などの事例を通し、相続手続きの留意点について理解を深めます。

講師からのメッセージ

経済法令研究会 顧問専任講師  
かわの ひろなお  
河野 大直 講師



相続取引について役職員のあいまいな知識に基づく説明不足や事務ミスなどによりトラブルが発生すれば、JAに対するクレームや訴訟などによるJAの信頼失墜など、JAにとって大きな損失にもつながりかねません。本研修では、相続取引にかかる基礎知識の学習とともに事例研究を行うことにより、現場での相続処理を円滑に実践していただくことを目指しています。

〈プロフィール〉新生銀行、新銀行東京、水戸証券などにて法務・コンプライアンス・監査業務を経験。2009年経済法令研究会顧問・専任講師就任、現在に至る。主な講義先は、全国の金融機関、JA、各種公開講座ほか多数。

ホームページに掲載しているコラムのご紹介

【税務に関するコラム】—— 相続対策としての土地の有効活用

ワンポイント講座



税理士  
せいた ゆきひろ  
清田 幸弘 講師

近年あちこちで宅地化が進み、土地をたくさん持っておられる農家の方にとっては、最終的にやってくる相続税が一番の悩みの種になっていることと思います。

まず、いくつか土地を持っている場合には、土地を四種類に「色分け」します。

その四種類は「死守地」(最後まで守りたい土地)、「問題地」(有効活用がままならない土地)、「有効活用地」(「家」のゆとりのために有効活用したい土地)、「納税用地」(納税する、または納税資金を準備するための土地)です。それぞれ個別にどのように対策ができるか検討する必要があります。

また、相続対策とひとことでも言っても経費がかかる場合もありますので、まず相続税の試算をしてみてもどれくらいの税金を負担しなければならないかを把握してから、必要な対策を行っていくことが大切です。

今月のコラム

金融法務に関するコラム「JAの不祥事件防止態勢～総論～」  
税務に関するコラム「相続対策としての土地の有効活用」  
(今月、当社ホームページにアップいたします。)

詳しくはHPへ

<http://nc-academy.co.jp/sp/external.html>



もっと知るなら  
…コチラから  
詳細情報をゲット!

問合せページURL

<http://nc-academy.co.jp/sp/procedures/>



研修申込ページURL

<http://nc-academy.co.jp/sp/procedures/application/>

